

秋田魁新報 2022年01月22日付 朝1

# 向川(横手)北京五輪へ 県勢初アルペン代表



向川桜子

全日本スキー連盟は21日、北京冬季五輪(2月4~20日)のアルペン女子代表選手の追加を発表し、横手市の向川桜子(30)・富士ライムB・T秋田、角館高一・早稲田大出(21)が初めて選ばれた。県出身選手で五輪のアルペン代表は男女を通じ初めて。

■向川選手関連記事27面

向川は出場枠の再配分を受けて代表入りした。昨年12月29日のワールドカップ(W杯)女子回転第4戦で27位に入り、自身初のW杯得点(30位以内)を獲得。連盟の派遣推薦基準の一つを満たし、日本女子で2番手に付けていた。

角館高で全国選抜と国体少年の大回転で優勝。早大で日本選手権の回転なども制した。世界ジュニア選手権ユーバーシアード日本代表各3回。2019年の世界選手権に出演した。

バイアスロン女子では北秋田市出身の立崎美由子(33)・自衛隊、米内沢高出(21)が県出身選手として最多となる4大会連続冬季五輪代表を決めており、本県からは2人が北京五輪に出場する。

(伊藤賀明)

©秋田魁新報社